

2月2日

テーマ：「いつも喜び、絶えず祈り、すべて感謝」

聖書箇所：テサロニケ人への手紙第一 5章16節～18節

◆今日のみことば

いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。すべての事について、感謝しなさい。これが、キリスト・イエスにあって神があなたがたに望んでおられることです。

テサロニケ人への手紙第一 5章16～18節

◆メッセージ

お家でも学校でも毎日楽しいことばかりだと、しあわせかもしれません。でも、いやなことや苦しいこと、大変なこともありますね。お友だちとなかよくできなかつたり、けんかしたり、いじめにあうこともあるかもしれません。苦しいことをだれにも言えなくて、ひとりで泣いてしまうこともあるかもしれません。なんで自分にばかりいやなことがあるんだろうと、楽しそうにしているお友だちを見るとうらやましくなったり、お友だちがきれいになつたりすることがあるかもしれませんね。神さまを信じているのに、なんでなんだろうと泣きたくなるかもしれません。パウロさんも同じような経験をしたのです。イエスさまのことをいっしょうけんめい伝えているとき、いやなことを言われたり、石をなげつけられたりしました。それでもパウロさんはいつも神さまに祈り、よろこんでイエスさまのことを伝えつづけてきました。なぜでしょう。



パウロさんは、わたしたちがイエスさまといっしょに生きるために、イエスさまが十字架で死んでくださった



ことを知っていたのです。それほどイエスさまが愛してくださっているのですから、ほかの人をうらやましがることはありませんでした。どんな人にも親切にして、すぐにおこったり、らんぼうなことはしませんでした。つらいことや苦しいことがあっても神さまがかならずよい方向へ変えてくださると信じて、いつもイエスさまのことを思い、神さまに「ありがとうございます」と言いつづけていたのです。神さ

まはあなたにどんなことがあってもよろこんでいること、イエスさまを思って祈ること、神さまに「ありがとうございます」と感謝することを望んでおられます。

今、あなたがとても苦しくて、泣いてしまうことがあっても、イエスさまはいつもあなたといっしょにいてくださいます。そして、かならず助けてくださいます。イエスさまはあなたが光の子どもとして生きていくことをよろこんでくださいます。

◆お祈り

「イエスさま、いつもいっしょにいてくださってうれしいです。ありがとうございます。」

(派遣教師・東京基督教大学 辻中保美)